

6/21 田舎

「選考後、早期に改憲発議」

茂木幹事長
安保環境変化を指摘

自民党の茂木敏充幹事長は「十日、報道各社のインタビューで、参院選後の早期に憲法改正の国会発議を目指す考えを表明した。

「選挙後で遅いだけ早いタイミングで改憲原案を国会に提案し、発議を目指した」と述べた。自民、公明、日本維新の会、国民民主の各党などの改憲勢力が参院選で、改憲発議に必要

な三分の一以上の議席を獲得するのを前提にした発言だ。

先の通常国会で改憲論議に前向きだった政党を念頭に、「主要政党間でスケジューール感を共有し、早期に改憲を実現したい」とも主張した。早期改憲を目指す理由については、安全保障環境などが大きく変化していると指摘。

とした一部野党ではなく、改憲に前向きな政党や議員が国民の支持を得ることを期待している」と語った。

参院選の勝敗ラインに関する議論も入れて与党で過半数だと重ねて強調。その上で「与党で改選議席の過半数の獲得も含め、一議席でも多く積み上げたい」と訴えた。